



「学校だより」第07号 文責 川田
令和 5年(2023年) 7月29日
HPで公開中 www.jss.edu.sg

ご家庭の支援に感謝

本日の授業をもちまして、しばらく夏休みとなります。この4か月間、授業日と言えば、15日(45時間)ではありましたが、子どもたちの日本語力が着実に向上しているのを感じています。これは、子ども一人ひとりの努力はもちろんですが、ご家庭の丁寧な支援によるものと感謝いたします。さらに、各担任による工夫した授業の構築が、手前味噌で当然のことではありますが、日本語力向上の原動力になっていることも付け加えさせていただきます。授業の再開は8月26日(土)です。元気な姿で戻ってくるのを楽しみにしております。



作品紹介

障害のある人はどうやってMRT(駅)のまわりを移動するか

小学部5年 笹尾優香

1 調べたきっかけ

私が駅にいたとき、点字ブロックやプラットフォームドアに赤いライトが設置されているのを見ました。そのとき、何のためにあるか気になりました。

そこで、そのことについて調べてみることにしました。

2 調べ方

私は、二つの方法で調べてみました。

一つ目は、実際にMRT(駅)に行って、赤いライトはどのように光っているか、そして点字ブロックはどのような形なのかを調べました。

二つ目は、インターネットでの調査でした。

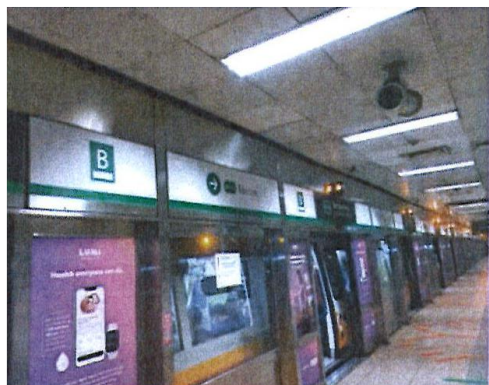
3 調べてわかったこと

(視覚障害)

視覚障害のある人は、駅のエレベーターの点字プレートや地面の点字ブロックを使用して、MRT(駅)の入口からプラットフォームまで移動できます。各停留所では、駅名と乗換案内がアナウンスされています。

(聴覚障害)

聴覚障害者は、駅のプラットフォーム周辺にあるさまざまな画面で到着時刻や目的地を確認できるようになっています。すべてのプラットフォームドアには、ドアが閉まるときのために赤色に点めつするランプが設置されています。



(車いす)

きぞんのすべてのMRT(駅)には、少なくとも一つのバリアフリールート、スロープ、エレベーターがあり、車いすで利用できるトイレと、はばの広い改札が設置されています。各列車には、車いす対応車両が二つあり、プラットフォームのあみ戸と床にステッカーがはられています。



4 まとめ

MRT(駅)には、みんなが過ごしやすいように赤いランプを設置するなど、さまざまな工夫がされていることが分かりました。その工夫は、障害のある人だけではなく、乗換案内や赤いランプ、バリアフリールートなどは、他の人にも助かるものだと感じました。私は、これから困っている人を見つけたら案内して助けたいと思います。

- これは、「調べたことを正確に報告する」ということをねらいとした単元学習の報告文です。シンガポールのMRT(駅)のバリアフリー対応について、実地調査をするなどして、詳しく、正確に、分かりやすい構成でまとめられているすばらしい作品です。

日本の祝日と行事予定

【8月の日本の祝日】 8月11日(金) 山の日

【8月の行事予定】 8月 5日(土)・12日(土)・19日(土)

夏休み中の休校日



8月26日(土) 夏休み明け授業開始

学校からのお知らせとお願い

1 本校の夏休みにともない、8月5日(土)から8月21日(月)まで、事務業務を休止します。

※ 8月22日(火)より、平常どおり事務業務を開始します。

2 宿題用封筒の追加提出をお願いします。

※ 長期欠席等により既に宿題用封筒を多く使用したご家庭は、夏休み明けに追加でA4サイズ封筒(宛名・住所を記載し、60セント切手を貼付したもの)を担任にご提出ください。

